

道徳教育「校内研修パッケージ」



「考え、議論する道徳」の 実現に向けて

北海道教育庁学校教育局義務教育課

校内研修パッケージ コンテンツ

- ①新学習指導要領の趣旨を踏まえた道徳科の授業
- ②道徳教育のカリキュラム・マネジメントの充実
- ③道徳科の特質を踏まえた授業改善
- ④道徳科の授業におけるICTの効果的な活用
- ⑤道徳科の評価の改善・充実

Contents⑤

道徳科の評価の改善・充実

道徳科の評価は、
どのように行くとよいのですか？



内 容

- 道徳科における評価の意義と基本的な考え方
- 道徳科における評価の充実

道徳科における評価の意義と基本的な考え方

道徳科における評価の意義と基本的な考え方

道徳科は、道徳教育の目標に基づき、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、発展的な指導によって道徳性を養うことがねらいである。



内面的資質である道徳性が養われたか否かは、容易に判断できるものではない。



道徳性を養うことを学習活動として行う道徳科の指導では、その学習状況や成長の様子を適切に把握し、評価することが求められる。

「小（中）学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編 第5章 第2節」

道徳科における評価の意義と基本的な考え方

道徳科の評価

道徳科の授業で見取る子どもたちの評価

児童（生徒）の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすよう努める必要がある。ただし、数値などによる評価は行わないものとする。

「小（中）学校学習指導要領 第3章 特別の教科 道徳」
※（ ）は中学校の表記



道徳科における評価の意義と基本的な考え方

道徳科における評価の在り方

- ・数値による評価ではなく、**記述式**とすること
- ・個々の内容項目ごとではなく、**大くりなまとまり**を踏まえた評価とすること
- ・他の児童（生徒）との比較による評価ではなく、児童（生徒）がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます**個人内評価**として行うこと
- ・学習活動において児童（生徒）がより**多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているか**といった点を重視すること など

「小（中）学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編
第5章 第2節」 ※（ ）は中学校の表記



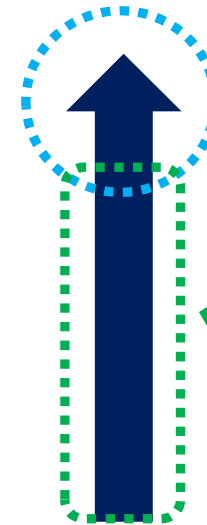
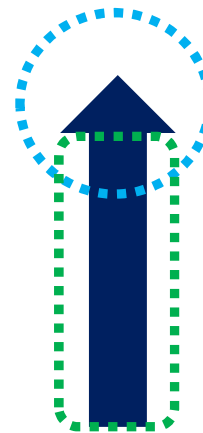
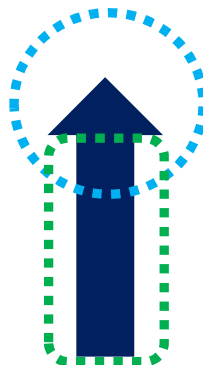
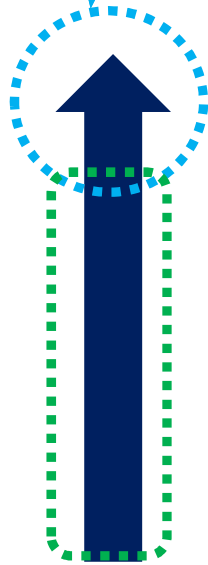
道徳科における評価の充実

道徳科における評価の充実

成長を受け止めて認め、励ます**個人内評価**

評価規準はなく、達成度は評価できない

道徳科の授業のねらい



評価するのは子どもたちの**学習状況**

道徳科における評価の充実

道徳科の授業
のねらいの例

指導の明確な意図

自分とは異なる見方や考え方があることを理解し、互いに分かり合うために、謙虚さと広い心をもって受け止めようとする態度を育てる。

- 道徳的価値がとれただけ理解できたか？
- 道徳性の様相がとれただけ育ったか？

教師はねらいを設定して授業に臨むが、
そのねらいをゴールとして子どもたちの評価は行わない。

道徳科における評価の充実

道徳的諸価値の理解に基づく

- ・子どもたちがより**多面的・多角的**な見方へと発展しているか。
- ・道徳的価値の理解を**自分自身との関わり**の中で深めているか。

自己の（人間としての）生き方について考えを深める

これらの点を重視し、道徳科の学習活動に着目して評価する。 ※（ ）は中学校の表記



道徳科における評価の充実

一面的な見方から**多面的・多角的な見方**へと発展させているかどうか

- ・道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やそのときの心情を様々な視点から捉え考えようとしている
- ・自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている
- ・複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考えようとしている



道徳科における評価の充実

道徳的価値の理解を**自分自身との関わり**の中で深めているかどうか

- ・読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解しようとしている
- ・現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直していることがうかがえる部分に着目している
- ・道徳的な問題に対して自己の取り得る行動と他者と議論する中で、道徳的価値の理解を更に深めている
- ・道徳的価値の実現することの難しさを自分のこととして捉え、考えようとしている

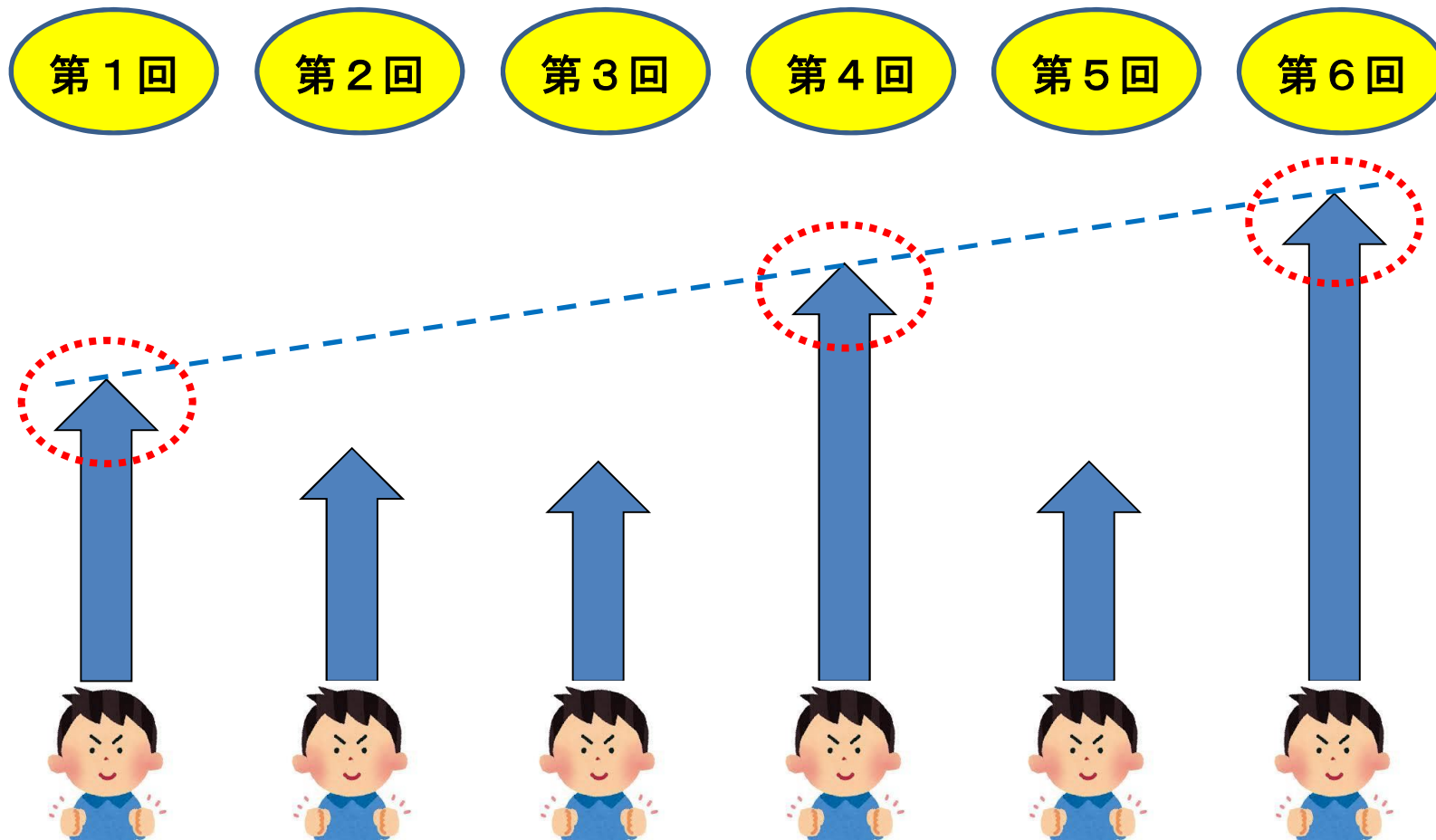
道徳科における評価の充実

道徳科における子どもたちの学習状況の例

- ・道徳的価値のよさや大切さについて考えようとしている
- ・道徳的価値について、一つの見方ではなく様々な角度から捉えて考えようとしている
- ・道徳的価値について、自分のこれまでの体験から感じたことを重ねて考えようとしている
- ・授業で学んだ道徳的価値のよさを感じ、これからの自分の生き方に生かそうとしている

道徳科における評価の充実

学習状況や道徳性に係る成長の様子を**継続的に**把握



道徳科における評価の充実

①どのような学習をしたか。

②どのような姿（発言、記述等）
が見られたか。

- 自分の経験を振り返り、自己の生き方についての考えを深めるという目標に向けて学習を重ねる中で、教材の世界に浸り、考えを深めながら、自分がその状況下においてどのような判断で行動するか考えられるようになってきました。

③目標に向けてどのような点で評価できるか。



道徳科における評価の充実

多面的・多角的な見方へと発展した子どもの評価例

- 礼儀の大切さについて考える授業で、友だちと意見交換をすることを通して、「自分が挨拶されるとうれしいように友だちに挨拶するとうれしい」と自分の感じ方や考え方を広げていました。
- 多くの意見に触れ、自分の考えを深めるという目標に向けて日々学習を重ねる中で、友だちと議論しながら、幅広い感じ方や考え方を認められるようになってきました。

道徳科における評価の充実

道徳的価値の理解を自分自身との関わりで深めていた
子どもの評価例

- 礼儀の大切さについて考える授業で、ワークシートに自分の考えを書くことを通して、「挨拶をすることの大切さは分かるけれどやることは難しい」と、道徳的価値を自分との関わりで考えていました。
- 自分の経験を振り返り、自己の生き方についての考えを深めるという目標に向けて学習を重ねる中で、教材の世界に浸り、考えを深めながら、自分がその状況下においてどのような判断で行動するか考えられるようになってきました。

道徳科における評価の充実

- 相手を思いやることの大切さについて考える授業で、友だちと意見交換をすることを通して、友だちに優しくすることの大切さに気づき、**それが学校生活のあらゆる場面で見られ、授業を基に自分の行動を改めました。**

行為の指導のように捉えられる評価は適切ではありません。

道徳科における評価の充実

評価のための具体的な工夫例

- ・子どもたちの学習の過程や成果などの記録を計画的にファイルに蓄積したもの
- ・子どもたちが道徳性を養っていく過程での子どもたち自身のエピソードを累積したもの
- ・作文やレポート、スピーチやプレゼンテーションなど、具体的な学習の過程
- ・子どもたちが行う自己評価や相互評価 等

道徳科における評価の充実

特に配慮すべきこと

- ・授業中の発言がほとんどない
- ・文章表現が得意ではない
- ・表情にも表れにくい



教師や他の子どもたちの**発言**に聞き入ったり、**考えを深めよう**としたりしている姿に着目するなど、**発言や記述ではない形**で表出する子どもの姿に着目することも重要である。

- ・どのように見取っていくのかを**校内で検討**しておくことが必要
- ・授業者は、意図的に観察したり、指名したりして、**評価できる根拠**を集めることが必要

道徳科における評価の充実

組織的、計画的な評価の推進例

- ・学年ごとに評価のために集める資料や評価方法等を明確にしておく
- ・評価結果について教師間で検討し、評価の視点などについて共通理解を図ること
- ・評価に関する実践事例を蓄積し共有すること

妥当性

信頼性

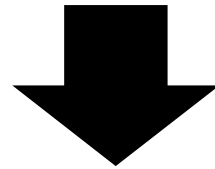
自信

負担軽減

道徳科における評価の充実

そして、何よりも…

子どもたちの**評価ができる**
道徳科の授業を旨指すことが大切



指導の明確な意図をもって、学習指導過程
や指導方法の計画を立て、**期待する具体的な**
学習の姿を想定することが重要

道徳科における評価の充実

教 師



指導の目標や計画、指導
方法の改善・充実に取り組
むための資料となるもの

子どもたち



自らの成長を実感し意欲の
向上につなげていくもの

教師の指導の改善に生かされ、子どもたちの成長に
つながる評価でなくてはならない。

指導と評価の一体化